

豊岡市障害者自立支援協議会運営会議 活動報告書

◆ サービス管理者ネットワーク会議について

地域の関係機関による連携体制構築に向け、サービス管理者ネットワーク会議を開催し、顔の見える関係作りや横のつながりの構築に向けての支援を行った。

日 時：平成30年1月26日（金）13：30～15：30

場 所：豊岡市役所立野庁舎多目的ホール

対 象 者：障害福祉サービス事業所 サービス管理責任者

参加人数：18名

内 容：分野別（就労系・グループホーム・生活介護・児童発達）に分かれてテーマ別にグループワークを行った。

テーマの内容に沿って意見の発散後課題の抽出を行った。グループによっては解決策の提案にまで至ったグループや、横のつながりの必要性を感じたグループもあり成果の見える会となった。

【来年度の方針】

今後、分野ごとにリーダーを輩出し、自助組織として活動し、課題解決に向けて連携できるようになることを目指す。自助組織化へ向けて、場の提供を行っていくなど今後も協議会として継続的に支援を行う。

◆ ヘルパー研修会について

ヘルパー不足が深刻であるという地域課題に対して、ヘルパーの支援に対するモチベーション維持や自己研鑽する場を求める声がある。より多くのヘルパーが参加でき、学びが得られる研修を行うため、できるだけ具体的な研修希望を把握するため、アンケート調査を実施した。アンケートに基づき、来年度、研修会の開催を検討している。

○ヘルパーを対象としたアンケートを実施

送付事業所数：25事業所（市内の居宅介護、訪問介護事業所）

回答事業所数：18事業所 184名

※アンケート集計結果 添付資料①

【来年度の方針】

集計したアンケート結果をもとに、研修会を開催

実施時期：平成30年6月予定

対 象 者：居宅介護支援事業所・訪問介護事業所ヘルパー

◆ 人材育成を目的とした障害福祉研修会（仮）について

日頃、障害のある方の支援を担っている市内の障害者福祉事業所職員や行政職員を対象として、障害に対する理解を深め、より良い支援につなげるための研鑽の場が必要とされている。そのため、人材育成を目的とした研修会の開催を検討する。

【来年度の方針】

市内の障害福祉事業所や行政職員を対象に人材育成を目的とした研修会を開催

実施時期：平成 30 年 8 月または 9 月（予定）

対 象 者：障害者福祉に携わる市内の事業所や行政機関

※詳細については、来年度早々に検討予定

＜豊岡市障害者自立支援協議会＞

ヘルパーアンケート（研修について）集計表

送付事業者数 25 事業所
回答事業者数 18 事業所 184 名

1. あなたはヘルパーとして障害者にかかわった経験をお持ちですか？

（介護保険対象の方でも65歳までに障害者手帳を所持されていた方であれば「経験あり」とします。）

- a. あり 152 名
- b. なし 32 名

2. 研修で学びたい障害種別に○をつけてください（複数回答可）。

- a. 身体障害 98 名
- | | | | | |
|---|-------|-----|------|----|
| 内 | 視覚障害、 | 7名 | 聴覚障害 | 1名 |
| | 肢体不自由 | 16名 | ALS | 1名 |
| | 内部障害 | 3名 | | |
- b. 知的障害 80 名
- c. 精神障害 95 名
- | | | | | |
|---|---------|----|-----|----|
| 内 | 高次脳機能障害 | 1名 | 認知症 | 1名 |
|---|---------|----|-----|----|
- d. 発達障害 84 名
- | | | |
|---|--------|----|
| 内 | アスペルガー | 1名 |
|---|--------|----|
- e. その他 2 名

3. 問2. で選択された障害種別の方への支援について、どのような内容の研修をご希望されますか？
できるだけ具体的にお書きください。

- a. 身体障害
- ・排泄介助、おむつ交換、不自由な部分に負担をかけない、呼吸や体位が安楽になるような具体的なケアの方法（10）
 - ・ガイドヘルプ講習をしてほしい
 - ・どのように接すればいいか
 - ・移動、移乗の方法等実技研修（3）
 - ・声かけ、心構え（3）

- 肢体不自由の方の知識や具体的な介助方法（3）
- 視覚障害の方を精神的にどのようにケアしていけばいいのか（3）
- 新しい情報のキャッチの方法
- 胃瘻の方の緊急時の対応について
- 身に着けておられる医療器具等で気を付けること
- 内面的な支援の方法
- 体の状態等どのような症状がでるのか
- 視覚障害、聴覚障害の方の日常の様子
- ストマ使用者の支援や介助の方法
- 視覚障害の方とコミュニケーションの取り方や声のかけ方等実践的なこと
- 短時間で有効な体操等（かかわり方も含めて）
- 不随意運動のある方は予測不能な動きがあるので、介助する方される方両者が安心できる介助法（歩行訓練等）

b. 知的障害

- 対応の方法、声掛けの方法（3）
- 知的障害がどういったことか、知識としての勉強会
- 内面的な支援の方法
- 知的障害と認知症の介護の違いについて

c. 精神障害

- 精神障害とは（2）
- 内面的な支援の方法
- かかわり方（声掛けの方法等）（3）
- 統合失調症の方のかかわり方や、地域とのかかわりについて
- 心の波（どんな時にどんなスイッチが入るのか）（2）
- 感情のコントロールの支援
- 妄想からの発言があり、真実がわからない
- その人の希望を聞いて、時間内にどのようにケアさせていただけるか
- 不安を訴えられた時の対処方法
- パニックになられた時の対処方法（クールダウン、場所移動、ポジティブな声掛けでもだめな時）（2）
- 相談された時の返答の方法
- 細かく学びたい、理解したい

d. 発達障害

- 内面的な支援の方法
- 児童の発達障害の方とのかかわり方
- 映像を見ながら解説してほしい（接し方、禁止事項、支援の仕方）（3）
- 支援の視点や声掛けの仕方（2）
- かかわりかた（3）
- コミュニケーションの取り方（2）
- アスペルガーについて学びたい

e. 障害全般

- 障害の基本を教えてほしい（58）
 - 障害別の特徴や特性について（26）
 - 支援の方法（特性に応じた向き合い方、会話の仕方、声のかけ方）（51）
 - コミュニケーションの取り方（5）
 - 本人が喜ばれる対応（3）
 - 日常生活のしづらさについて
- 内面的な支援の方法（2）
- 原因、病状、留意点、心理面での対応
- 事例検討（4）
- 日常生活における距離感、介入の方法
- 緊急時の対応について
- 利用者の内に秘めた思いを見たり聞いたりしたときに、ヘルパーとしてできること

f. その他

- ヘルパーができる支援、できない支援について制度的なことが知りたい（3）
- 作業所や家族と共通認識を持ちたい
- ヘルパーの経験談（2）
- デイやショート福祉サービスの利用ができるかどうか
- 家族のケアについて
- ヘルパー以外で障害者が受けられる福祉サービスが豊岡市内にどれくらいあるのか（2）
- 障害者本人の「こんな対応が良かった」といった体験談や希望が聞きたい
- 個人ではなく、複数の方の研修ができれば
- 市とのかかわりについて
- 障害者や高齢者、独居の方が楽しみや生きがいを持ち生活を送るには
- 介護経験者の講演会
- 自立を旨とせず障害者にかかわっておられるヘルパーの体験談を聞きたい
- 障害ヘルパーとしての意識の持ち方

4. 研修に参加しやすい曜日や時間帯はいつですか？比較的参加しやすい日時を欄に○をつけてください。

	平日	土	日
午前	36	9	3
午後	43	13	7
18時以降	40	12	5
わからない・決まってい ない	52	17	18